

単元名 5 筋道を立てて 一話し合いの展開を捉える

配当時間 1時間

単元の目標

- (2) 話し合いの流れを踏まえた発言を考えることができる。
 (3) 話し合いをよりよく進めるための工夫について、進んで考えようとする。

標準的な展開例

10210211_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 話し合いの目的や話題を理解し、流れを踏まえた発言の仕方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 話し合いの目的や話題を理解し、流れを踏まえた発言の仕方を考えよう。 ○ 「話し合いの例」(p. 145)を聞き、空欄に当てはまる発言を考える。 <p>○ 空欄に当てはまる言葉を基に、話し合いのルールについて確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下段の上達のポイントを確認させる。 ・ 空欄1を考えさせるために「話すとき」「聞くとき」(p. 145)を、空欄2を考えさせるために「司会をするとき」(p. 145)を読ませる。 【評】流れを踏まえた発言内容を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 話し合いの目的や話題を共通理解すること、話し合いが前に進むような発言を心がけること、自分の考えと比較して聞くことを確認する。

【 備 考 】

論理的な表現は、展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり、書いたりする場合はもちろんのこと、話し合う際にも、議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ、考えを深めることができなくなる。ここでは、論点を明確にすることを通して、読んだり書いたり話し合ったりしながら、考えを深めていく学習をする。